

# 空間景観技法

教員名 森田 喬

開講時期 4Q

## 講義開講情報

選択・必修の別: 選択

## 授業の到達目標及びテーマ

都市空間は、物理的に存在していると同時に人に対して意味を発している。人に認識され意味づけされた空間の諸相を追うとともに、それらの意味の調査方法や意味を考慮した空間計画・景観デザイン上の諸課題を調査報告・討議をまじえながら学習する。

(本科目を受講することによって身に着ける学習・教育目標)

学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
割合(%)	20						50	30		

## 授業の概要と方法

空間・景観・記号論関係基礎文献の講読とレポート、調査報告・討論、などで構成する。

## 授業計画

回数	テーマ	内容
1	ガイダンス	全体構成の説明(空間論、景観論、記号論、フィールド調査、プレゼンテーション)
2	空間・景観の諸相	空間コミュニケーション、文化・歴史的な文脈
3	空間認知の基本問題	感覚器、言語、発達、環境、文化
4	空間・景観の記述・表現	スケール・解像度、構文論・意味論・実用論
5	空間の分節化と統合(1)	目的、空間モデル、都市環境、インフラ空間
6	空間の分節化と統合(2)	実・バーチャル空間、地図空間、活動空間
7	空間の調査・分析(1)	センサー、空間のモデル化、記述方法
8	景観の調査・分析(2)	対景、注視位置、眼球運動、選好調査
9	空間計画・景観デザイン	空間・景観の操作・計画・設計
10	空間・景観の評価	意思表示、合意形成
11	プレゼンテーション(1)	フィールド調査結果の発表・討論
12	プレゼンテーション(2)	フィールド調査結果の発表・討論
13	プレゼンテーション(3)	フィールド調査結果の発表・討論
14	プレゼンテーション(4)	フィールド調査結果の発表・討論
15	まとめ	到達度の確認

## テキスト

授業内で適宜指示する。

## 参考書

佐々木葉ほか著<景観と意匠の歴史的展開>、その他必要に応じて紹介する。

## 成績評価基準

レポート40%、プレゼンテーション評価60%とする。

欠席4回以上は単位取得を認めない(評価D)。